

家庭用生ごみ処理容器等の利用状況に関する
アンケート調査報告書

令和4年2月

逗子市環境都市部資源循環課

アンケート調査の概要

1 調査の目的

平成 28 年度から令和 2 年度までの間に、家庭用生ごみ処理容器等購入費助成金の交付を受け、家庭用生ごみ処理容器等を使用している市民を対象に、その使用状況等についてのアンケート調査を実施し、今後の普及啓発の参考とすることを目的に実施した。

2 調査対象

平成 28 年度から令和 2 年度までの間に、家庭用生ごみ処理容器等購入費助成金の交付を受けた市民 394 人^{*}を対象とした。

※助成金交付件数（複数年度での同対象者への交付 9 件を除く）

平成 28 年度	124 件
平成 29 年度	180 件
平成 30 年度	0 件（緊急財政対策により助成を休止）
令和元年度	45 件
令和 2 年度	54 件

3 調査方法

- (1) 調査票の配付及び回収方法 郵送による配付、回収
(2) 調査実施時期 令和 3 年 10 月 15 日から令和 3 年 11 月 5 日まで

4 回収状況

配付数	宛先不明	有効発送数	有効回答数	有効回答率
394 票	28 票	366 票	251 票	68.6%

5 報告書を読む際の注意点

- ・調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数（n）として、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出している。四捨五入の関係で、合計が 100%にならない場合がある。
- ・選択肢の語句が長い場合は、表及びグラフ中では省略した表現を用いている。

集計の結果

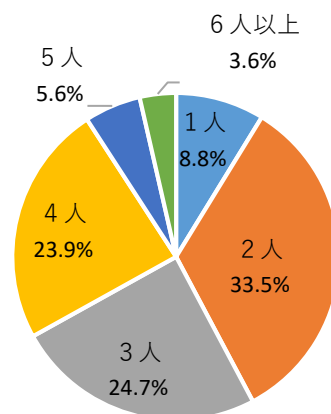
問3 世帯人数は何人ですか。

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人 6. 6人以上

回答者の世帯人数は、2人（33.5%）が最も多く、次いで3人（24.7%）、4人（23.9%）の順となっている。

世帯人数 (人)

1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	計
22	84	62	60	14	9	251



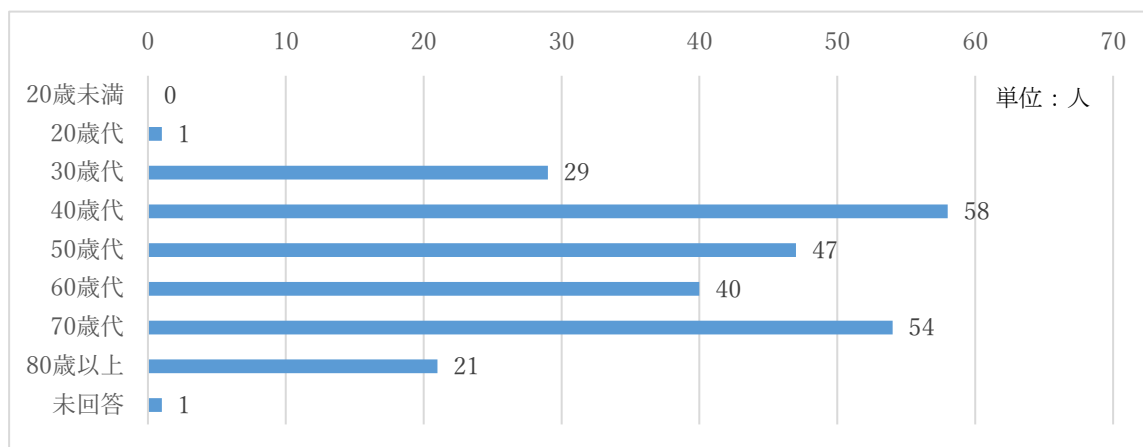
問4 あなたの年齢はおいくつですか。

1. 20歳未満 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代
6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳以上

回答者の年齢は、40歳代（23.1%）が最も多く、次いで70歳代（21.5%）、50歳代（18.7%）の順となっている。

年齢

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	未回答	計
回答者数	0	1	29	58	47	40	54	21	1	251
%	0%	0.4%	11.6%	23.1%	18.7%	15.9%	21.5%	8.4%	0.4%	100%



II お使いの家庭用生ごみ処理容器等についておたずねします

問5 いつ購入しましたか。(一番最近のもの)

1. 平成 28 年度 2. 平成 29 年度 3. 平成 30 年度
4. 令和元年度 5. 令和 2 年度

回答者に一番最近に家庭用生ごみ処理容器等を購入した時期を聞いたところ、平成 28 年度 (34.3%) が一番多く、次いで平成 29 年度 (19.5%) の順となった。

購入時期

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	未回答	計
回答者数	86	49	32	30	29	25	251
%	34.3%	19.5%	12.7%	12.0%	11.6%	10.0%	100.0%

注) 未回答には「購入年度不明」を含む。

問6 種類は次のうちどれですか。

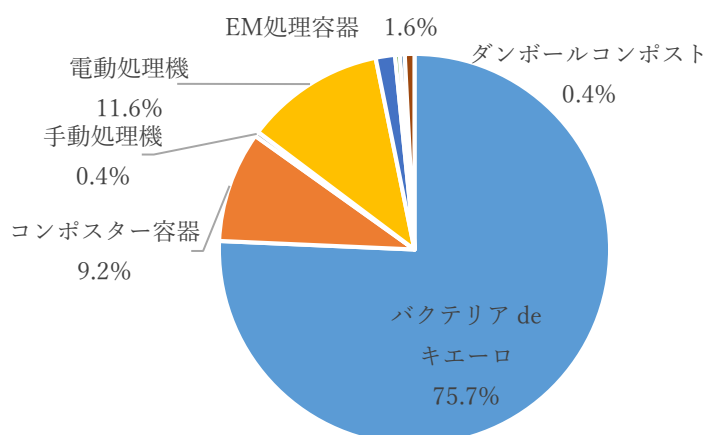
1. バクテリア de キューロ 2. コンポスター容器 3. 手動処理機
4. 電動処理機 5. EM処理容器 6. ダンボールコンポスト
7. その他 (具体的に :)

使用している生ごみ処理容器等の種類は、バクテリア de キューロが 75.7%と多くを占め、次いで電動処理機 (11.6%)、コンポスター容器 (9.2%) の順となった。

使用している生ごみ処理容器等の種類

(人)

バクテリア de キューロ	コンポスター容器	手動処理機	電動処理機	EM処理容器	ダンボールコンポスト	その他	未回答	計
190	23	1	29	4	1	1	2	251



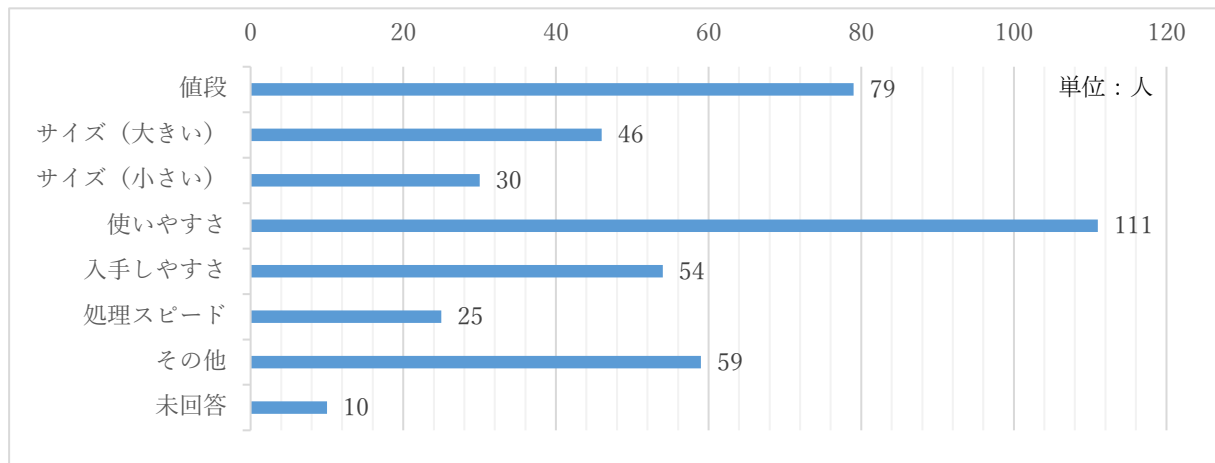
問7 お使いの家庭用生ごみ処理容器等を選択した理由は何ですか。(複数回答可)

1. 値段 2. サイズ (大きい) 3. サイズ (小さい)
 4. 使いやすさ 5. 入手しやすさ 6. 処理スピード
 7. その他 (具体的に: _____)

使用している生ごみ処理容器等を選択した理由は、使いやすさ (26.8%) が最も多く、次いで値段 (19.1%) が多くなった。手軽に利用できる生ごみ処理容器等へのニーズの高さがうかがえる。

使用している生ごみ処理容器等を選択した理由 (複数回答) (n=251)

	値段	サイズ (大きい)	サイズ (小さい)	使いやすさ	入手しやすさ	処理スピード	その他	未回答	計
回答者数	79	46	30	111	54	25	59	10	414
%	19.1%	11.1%	7.2%	26.8%	13.0%	6.0%	14.3%	2.4%	100.0%



<その他の主な記載内容>

環境への配慮、ごみの減量になるから、自然の力を利用してリサイクルできる、考え方に共感、臭いが気にならない、処理の仕方、衛生面で安心、虫がわからない、堆肥になる、畑・園芸に役立つ、生ごみと落ち葉をたくさん処理できる、油や液体が処理できる、補助金が出る、電気を必要としない、エネルギー負荷が小さい、コストがかからない、ごみ袋代の節約、自然素材、デザイン、見た目がよい、サイズが選べたから、焼き物なので動物にひっくり返されない、面白そうだったから、口コミ、友人が使っていてよいと思った、付き合い、電動は1機種しかなかった、他に知らなかった

問8 家庭用生ごみ処理容器等について、何で知りましたか。

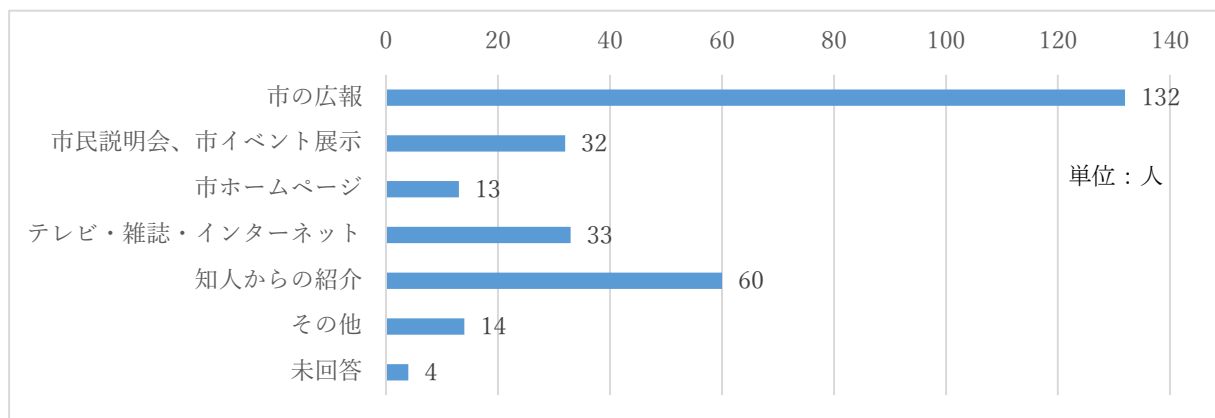
1. 市の広報（チラシ、C U Z、広報ずし、ハロー逗子）
2. 市民説明会、市のイベント展示（環境フェスティバル等）
3. 市のホームページ
4. テレビ、雑誌、インターネット検索（市のホームページ以外）
5. 知人からの紹介
6. その他（具体的に： _____ ）

家庭用生ごみ処理容器等について、市の広報（チラシ、C U Z、広報ずし、ハロー逗子）で知ったとの回答が45.8%と約半数を占めた。次いで知人からの紹介が20.8%、テレビ・雑誌・インターネット検索が11.5%、市民説明会・市のイベント展示（環境フェスティバル等）が11.1%となった。

家庭用生ごみ処理容器等を何で知ったか（複数回答）（n=251）

	市の広報	市民説明会 市のイベント 展示	市ホーム ページ	テレビ・雑誌 インターネット 検索	知人から の紹介	その他	未回答	計
回答者数	132	32	13	33	60	14	4	288
%	45.8%	11.1%	4.5%	11.5%	20.8%	4.9%	1.4%	100.0%

注）最初に知ったきっかけを問う設問であったが、34件（13.5%）が複数回答となった。設問の主旨から支障はないと考えるため、34件を無効とはせず複数回答可として集計した。



<その他の主な記載内容>

- ・ 新聞記事
- ・ 街で見かけた
- ・ 販売店で実際に見て
- ・ 商工会のパフレット
- ・ 以前より興味があった、
- ・ 自治会の月例会での説明
- ・ 知人からの紹介
- ・ エコ広場での説明

問9 市の家庭用生ごみ処理容器等購入費助成金制度について、何で知りましたか。

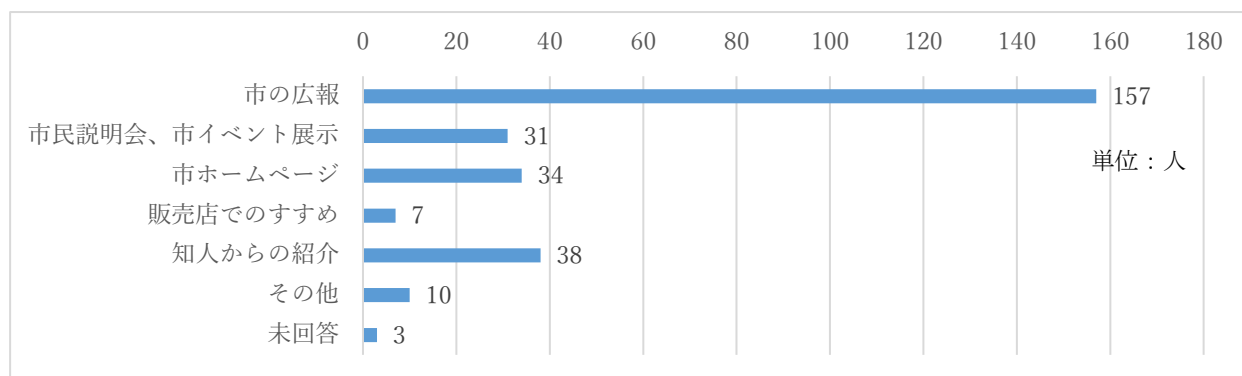
1. 市の広報（チラシ、C U Z、広報ずし、ハロー逗子）
2. 市民説明会、市のイベント展示（環境フェスティバル等）
3. 市のホームページ
4. 販売店でのすすめ
5. 知人からの紹介
6. その他（具体的に： _____)

逗子市家庭用生ごみ処理容器等購入費助成金制度について、市の広報（チラシ、C U Z、広報ずし、ハロー逗子）で知ったとの回答が 56.1%と半数以上を占めた。次いで知人からの紹介が 13.6%、市ホームページが 12.1%となった。

逗子市家庭用生ごみ処理容器等購入費助成金制度を何で知ったか（複数回答）（n = 251）

	市の広報	市民説明会、市のイベント展示	市ホームページ	販売店でのすすめ	知人からの紹介	その他	未回答	計
回答者数	157	31	34	7	38	10	3	280
%	56.1%	11.1%	12.1%	2.5%	13.6%	3.6%	1.1%	100.0%

注）最初に知ったきっかけを問う設問であったが、28件（11.2%）が複数回答となった。設問の主旨から支障はないと考え、28件を無効とはせず複数回答可として集計した。



<その他の主な記載内容>

- ・新聞記事
- ・SNS
- ・販売店でチラシを見て
- ・エコ広場での説明
- ・転入時に補助金制度を確認した
- ・他市の人から聞いて市に問い合わせた

Ⅲ 家庭用生ごみ処理容器等の使用状況等についておたずねします

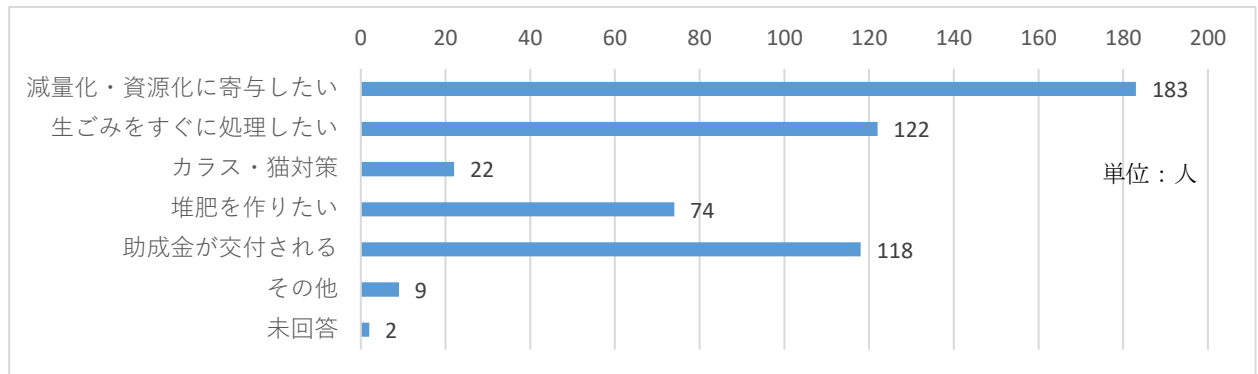
問 10 家庭用生ごみ処理容器等を使用しようと思った理由は何ですか。(複数回答可)

1. ごみ問題に関心があり、ごみの減量化・資源化に寄与したい
2. 生ごみを保管せずすぐに処理したい
3. 出したごみをカラス・猫等に荒らされないようにしたい
4. 園芸や家庭菜園で利用する堆肥を自分で作りたい
5. 市から助成金が交付され、安く購入ができる
6. その他(具体的に:)

家庭用生ごみ処理容器等を使用しようと思った理由は、「ごみ問題に関心があり、ごみの減量化・資源化に寄与したい」が34.5%と最も多く、ごみの減量化・資源化への意識の高さがうかがえた。次いで「生ごみを保管せずすぐに処理したい」が23.0%、「市から助成金が交付され、安く購入ができる」が22.3%となった。

家庭用生ごみ処理容器等を使用しようと思った理由(複数回答)(n=251)

	減量化・資源化に寄与したい	生ごみをすぐに処理したい	カラス・猫等への対策	堆肥を作りたい	助成金が交付される	その他	未回答	計
回答者数	183	122	22	74	118	9	2	530
%	34.5%	23.0%	4.2%	14.0%	22.3%	1.7%	0.4%	100.0%



<その他の主な記載内容>

- ・自分のタイミングで処理できる。
- ・軽くなりごみ出しが楽になる。
- ・実家でコンポストを使用していたので、生ごみをごみとして捨てる概念がなかった(資源にするのが当たり前)。
- ・二酸化炭素等の発生が小さい。
- ・ごみ袋代の節約。

問 11 家庭用生ごみ処理容器等をこれまでに何回購入していますか。

1. 1回目 2. 2回目 3. 3回目 4. 4回目 5. 5回目以上

家庭用生ごみ処理容器等の購入回数は、1回目（64.1%）が半数以上と最も多く、次いで2回目（21.5%）、3回目（9.6%）となった。

家庭用生ごみ処理容器等の購入回数

	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目以上	未回答	計
回答者数	161	54	24	5	3	4	251
%	64.1%	21.5%	9.6%	2.0%	1.2%	1.6%	100.0%

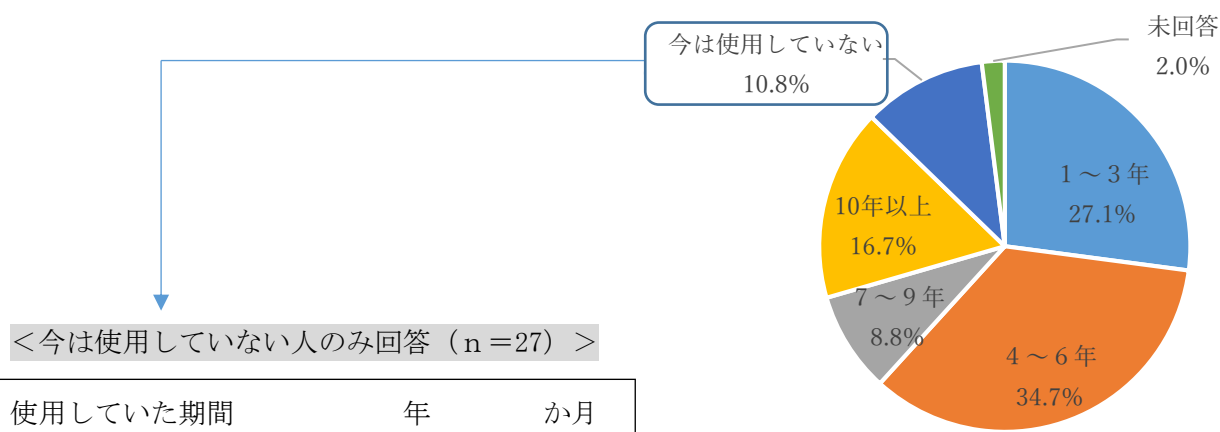
問 12 家庭用生ごみ処理容器等をどのくらいの期間使用していますか。

1. 1～3年 2. 4～6年 3. 7～9年 4. 10年以上
5. 今は使用していない（使用していた期間 年 か月）

家庭用生ごみ処理容器等を使用している期間は、「4～6年」（34.7%）が最も多く、次いで「1～3年」（27.1%）、「10年以上」（16.7%）となり、継続して使用している人が多く見られた。一方で、「今は使用していない」との回答者も10.8%となった。

家庭用生ごみ処理容器等の使用期間

	1～3年	4～6年	7～9年	10年以上	今は使用していない	未回答	計
回答者数	68	87	22	42	27	5	251
%	27.1%	34.7%	8.8%	16.7%	10.8%	2.0%	100.0%



「今は使用していない」と回答した 27 人に使用していた期間を聞いたところ、「1～3年」が 33.3%と多く、しばらく使用した後に使用をやめていることがうかがえる。

家庭用生ごみ処理容器等を使用していた期間 (n=27)

	1年未満	1～3年	4～6年	未回答	計
回答者数	2	9	5	11	27
%	7.4%	33.3%	18.5%	40.7%	100.0%

<今は使用していない人のみ回答 (n=27) >

使用しなくなった理由を教えてください。(複数回答可)

- ①臭いが気になった ②虫がわいた ③使用方法が面倒だった
 ④投入するごみの分別が面倒だった ⑤堆肥の処理に困った ⑥費用がかかった
 ⑦故障した ⑧その他(具体的に:)

「今は使用していない」と回答した 27 人に対し、使用しなくなった理由を聞いたところ、「虫がわいた」、「臭いが気になった」、「動物に荒らされた」等の使用時に発生した問題により使用をやめたとの回答が多くあった。

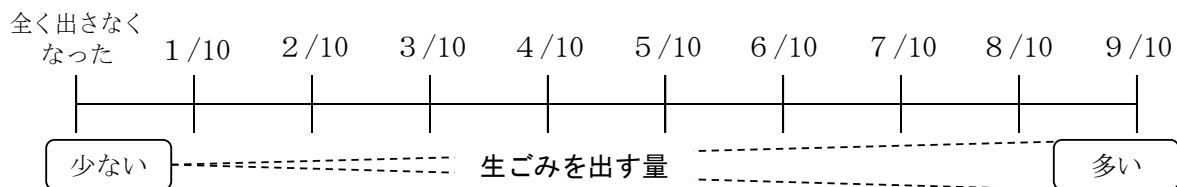
家庭用生ごみ処理容器等を使用しなくなった理由(複数回答)(n=27) (人)

臭いが気になった	虫がわいた	使用方法が面倒	投入ごみの分別が面倒	堆肥の処理に困った	費用がかかった	故障した	その他	未回答	計
5	9	4	3	3	0	2	13	1	40

<その他の主な記載内容>

- ・ネズミに荒らされた、ネズミが地中から入り悪臭がした。
- ・ハクビシンに荒らされた。
- ・プラスチックのコンポストはふたを開けて生ごみを入れるだけだったが、木製のものは穴をほり土を被せるという使用方法が面倒。
- ・処理スピードが生ごみ量に追いつかなかった。
- ・冬はなかなか分解しない。
- ・音が気になった。
- ・カット野菜を買うようにしているから、処理するごみが少なくなった。
- ・木部が腐食してこわれてきた。
- ・使用者の体調により使用できなくなった。

問 14 家庭用生ごみ処理容器等を使用するようになって、燃やすごみとして出す生ごみの量は、どの程度になりましたか。(該当する量に○をつけてください。)



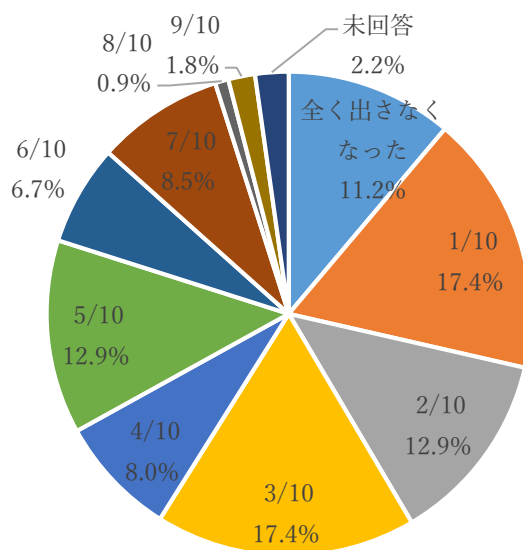
家庭用生ごみ処理容器等を使用するようになって、燃やすごみとして出す生ごみの量がどの程度になったかを聞いたところ、10分の1（17.4%）及び10分の3（17.4%）が最も多く、次いで10分の2（12.9%）及び10分の5（12.9%）の順となった。

また、生ごみを全く出さなくなったとの回答者も11.2%と10%を超える結果となった。

生ごみを出す量が半分以下となったとの回答者は79.9%と約8割を占め、家庭用生ごみ処理容器等を使用し、各家庭での自家処理を進めることによって、生ごみの量は大幅に減少させることができるといえる。

燃やすごみとして生ごみを出す量（n=224）

	全く出さなくなった	1/10	2/10	3/10	4/10	5/10	6/10	7/10	8/10	9/10	未回答	計
回答者数	25	39	29	39	18	29	15	19	2	4	5	224
%	11.2%	17.4%	12.9%	17.4%	8.0%	12.9%	6.7%	8.5%	0.9%	1.8%	2.2%	100%



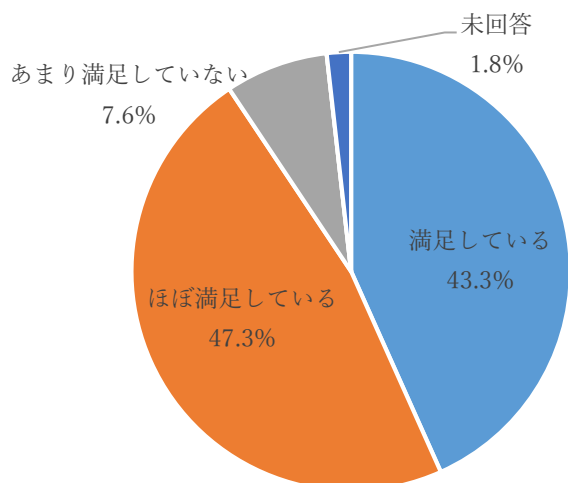
問 15 家庭用生ごみ処理容器等を使用して、その効果に満足していますか。

1. 満足している 2. ほぼ満足している
3. あまり満足していない 4. 満足していない

家庭用生ごみ処理容器等の効果については、「ほぼ満足している」(47.3%)が最も多く、次いで「満足している」(43.3%)となり、使用を継続している回答者(224人)のうち、効果に満足している人は90%以上となった。

家庭用生ごみ処理容器等の効果の満足度 (n=224)

	満足している	ほぼ満足している	あまり満足していない	満足していない	未回答	計
回答者数	97	106	17	0	4	224
%	43.3%	47.3%	7.6%	0.0%	1.8%	100.0%



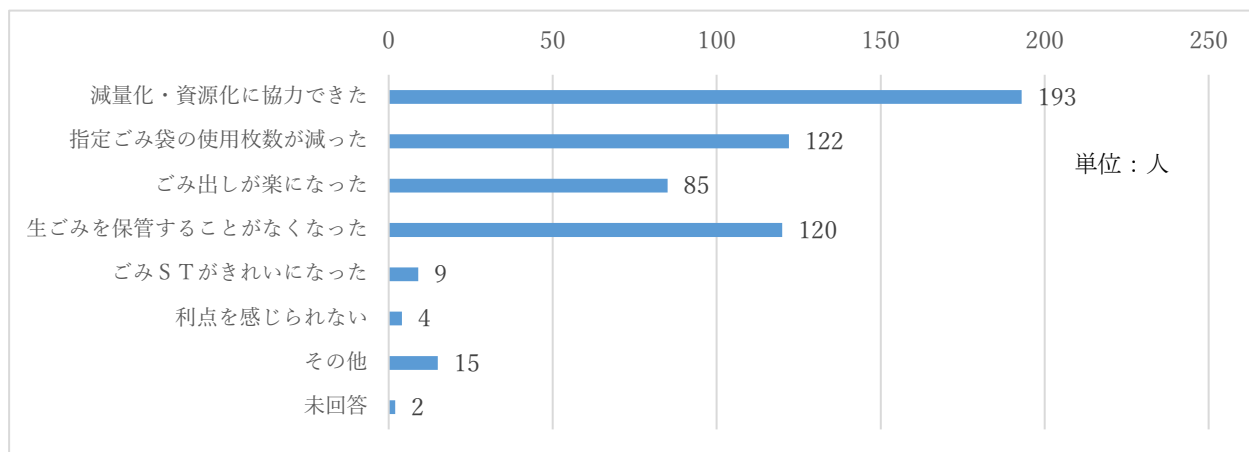
問 16 家庭用生ごみ処理容器等を使用して、どのような利点がありますか。(複数回答可)

1. ごみの減量化・資源化に協力できた
2. 指定ごみ袋(有料)の使用枚数が減った
3. ごみ出しが楽になった
4. 生ごみを保管することがなくなり、臭い等の心配がなくなった
5. ごみステーションがきれいになった
6. 利点を感じられない
7. その他(具体的に:)

家庭用生ごみ処理容器等を使用することによる利点を聞いたところ、「ごみの減量化・資源化に協力できた」(35.1%)が最も多く、ごみの減量化・資源化への意識の高さがうかがえた。次いで、「指定ごみ袋の使用枚数が減った」(22.2%)、「生ごみを保管することがなくなった」(21.8%)となった。

家庭用生ごみ処理容器等を使用する利点(複数回答)(n=224)

	減量化・資源化に協力できた	指定ごみ袋の使用枚数が減った	ごみ出しが楽になった	生ごみを保管することがなくなった	ごみSTがきれいになった	利点を感じられない	その他	未回答	計
回答者数	193	122	85	120	9	4	15	2	550
%	35.1%	22.2%	15.5%	21.8%	1.6%	0.7%	2.7%	0.4%	100%



<その他の主な記載内容>

- ・油とか液体ごみは大幅に減った。
- ・油、汁をシンクに流さなくなった。
- ・魚、廃油のすべてを処理している。
- ・生ごみがないので、燃やすごみを出すのは月1回でも間に合う。

- ・腐敗したものや使用済みの食用油を捨てられるので処分が楽になった。
- ・いつでも出せる。臭いがなくなった。
- ・気候変動対策、循環型社会への寄与。
- ・庭に土がよくなり、虫が集まってきた。
- ・家の園芸用の土がリサイクルできた。油を捨てずに堆肥にできた。
- ・無農薬・無肥料の野菜が食べられる。
- ・1人なので丁度良い。
- ・本当に良かったので多くの方に勧めたい。

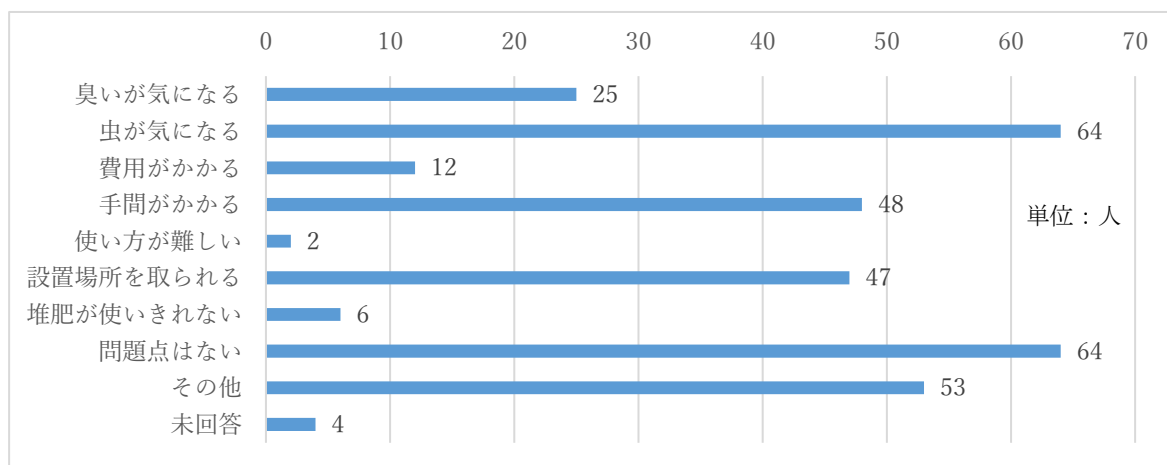
問 17 家庭用生ごみ処理容器等を使用して、どのような問題点がありますか。(複数回答可)

1. 臭いが気になる
2. 虫が気になる
3. 費用がかかる
4. 手間がかかる
5. 使い方が難しい
6. 設置場所を取られる
7. 堆肥ができすぎて使いきれない
8. 問題点はない
9. その他(具体的に:)

家庭用生ごみ処理容器等の問題点を聞いたところ、「虫が気になる」(19.7%)及び「問題点はない」(19.7%)が最も多く、次いで、「手間がかかる」(14.8%)、「設置場所を取られる」(14.5%)となった。また、「その他」(16.3%)も多く、特に冬季の処理能力の低下が問題とする意見が多くあった。

家庭用生ごみ処理容器等の問題点(複数回答)(n=224)

	臭いが 気になる	虫が気 になる	費用が かかる	手間が かかる	使い方 が難し い	設置場 所を取 られる	堆肥が 使いき れない	問題点 はない	その他	未回答	計
回答者数	25	64	12	48	2	47	6	64	53	4	325
%	7.7%	19.7%	3.7%	14.8%	0.6%	14.5%	1.8%	19.7%	16.3%	1.2%	100%



<その他の主な記載内容>

- ・ 冬季（気温が低い時期）は処理能力が落ちるため分解に時間がかかる。（16）
- ・ 分解に時間がかかる、生ごみの量が多く処理能力が追いつかない。（5）
- ・ 動物がくる。（ネズミ、モグラ、猫、タヌキ等）（6）
- ・ 分解できない食品がある。
- ・ 肉、魚を入れられない（虫がわく）ので土に埋めている。
- ・ 定期的にダニが発生する。（夏場はバクテリアが活発で良い） 多人数だと処理しきれないと思う。
- ・ 細かくしないといけない。
- ・ シールやプラパッケージが混ざってしまう。
- ・ キューロでは、肉の骨は処理できないので、他の処理容器と併用したいと考えている。
- ・ うまく分解されない時もあり、コツを知りたい。
- ・ 生ごみが大量になってしまった時は処理しきれないようで臭いは出る。それも込みで学びになります。
- ・ 処理している間に独特な臭いが出る。
- ・ 電気はすぐに処理できて便利だが、室内では少し臭いが気になる（焼いた臭い）。
- ・ 隣人への臭いの配慮。
- ・ 毎日使えるわけではないので、その間の生ごみの保管は工夫が必要（臭い、虫）。
- ・ 置き場所によってごみの運び方に注意が必要。
- ・ 電源の確保。
- ・ 耐用年数に限りがある。
- ・ 木製のため腐るので買い替えが必要。
- ・ 土に直接埋め込んだので周りの木が腐ってしまった。
- ・ キューロは好き嫌いが多い。
- ・ 1回目購入器に較べて2回目のキューロは表面積が小さくなっている。
- ・ 一度設置すると移動が難しい。
- ・ 日当たりが十分でない。
- ・ 強風でふたが飛ばないように気を付けている。
- ・ 台風でふたがとれてしまったが修理してもらえなかった。ふたなしで使用できている。
- ・ ふたに網戸を付けてほしい。
- ・ 堆肥として使えるかわからなかった。
- ・ 土と混ぜるのに力がいる。
- ・ 土をどんどん加えないと、ごみにかぶせるので土が必要になる。
- ・ 堆肥にできないのがとても残念。
- ・ 家の近くに農地がほしい。
- ・ 多少手間はかかるが、ほとんど気にならない。

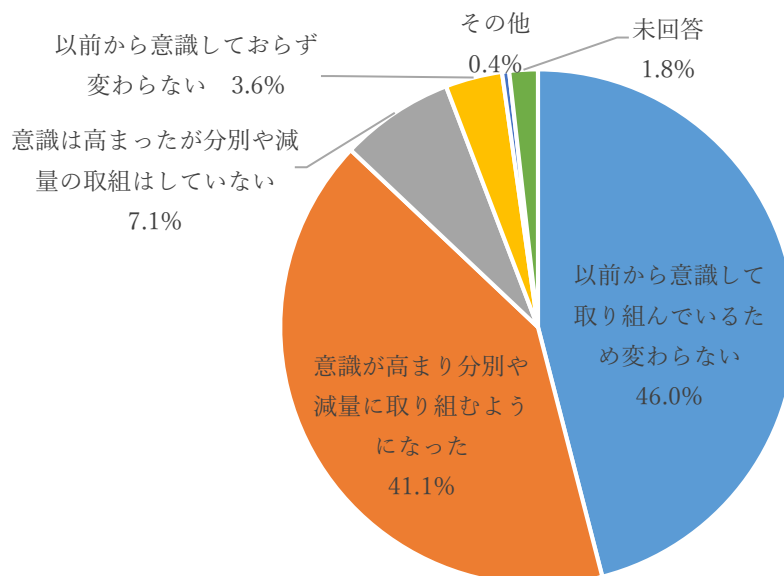
問 18 家庭用生ごみ処理容器等を使用するようになってから、ごみに対する意識は変わりましたか。

1. 以前から意識して取り組んでいるため、あまり変わらない
2. 以前より意識は高まり、積極的に分別や減量に取り組むようになった
3. 以前より意識は高まったが、特に分別や減量への取り組みはしていない
4. 以前から意識しておらず、あまり変わらない
5. その他（具体的に： _____）

家庭用生ごみ処理容器等を使用するようになってから、ごみに対する意識が変わったかを聞いたところ、「以前から意識して取り組んでいるため、あまり変わらない」（46.0%）が最も多く、次いで、「以前より意識が高まり、積極的に分別や減量に取り組むようになった」（41.1%）となり、回答者のごみに対する意識の高さがうかがえた。

家庭用生ごみ処理容器等の使用による意識の変化（n=224）

	以前から意識して取り組んでいるため変わらない	意識が高まり分別や減量に取り組むようになった	意識は高まったが分別や減量の取組はしていない	以前から意識しておらず変わらない	その他	未回答	計
回答者数	103	92	16	8	1	4	224
%	46.0%	41.1%	7.1%	3.6%	0.4%	1.8%	100%



<その他の主な記載内容>

- ・プラごみの減量にも取り組み、ごみ全体の減量やごみに対する意識が高まった。

<問 19 以降は全員回答 (n = 251) >

問 19 家庭用生ごみ処理容器等の使用を広めるために、あなたが重要だと思う度合いをお答えください。

	重 要 度				
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
(1) 助成金の額 (割合)	5	4	3	2	1
(2) 交付申請手続きの容易さ	5	4	3	2	1
(3) 助成金がすぐに交付される	5	4	3	2	1
(4) 種類の選択の自由度	5	4	3	2	1
(5) 購入店の選択の自由度	5	4	3	2	1
(6) 使用方法についての説明	5	4	3	2	1
(7) 助成制度が広報されている	5	4	3	2	1
(8) 生ごみの減量についての意識啓発	5	4	3	2	1

家庭用生ごみ処理容器等の使用を広めるために、重要だと思う度合いを聞いたところ、「重要である」との回答が過半数を超えた項目としては、「生ごみの減量についての意識啓発」(66.9%)、「助成金の額 (割合)」(65.3%)、助成制度が広報されている (62.5%)、「交付申請手続きの容易さ」(51.0%) となった。

(1) 助成金の額 (割合)

	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	未回答	計
回答者数	164	59	13	5	3	7	251
%	65.3%	23.5%	5.2%	2.0%	1.2%	2.8%	100.0%

(2) 交付申請手続きの容易さ

	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	未回答	計
回答者数	128	75	25	10	2	11	251
%	51.0%	29.9%	10.0%	4.0%	0.8%	4.4%	100.0%

(3) 助成金がすぐに交付される

	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	未回答	計
回答者数	101	81	31	20	6	12	251
%	40.2%	32.3%	12.4%	8.0%	2.4%	4.8%	100.0%

(4) 種類の選択の自由度

	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	未回答	計
回答者数	99	84	37	15	5	11	251
%	39.4%	33.5%	14.7%	6.0%	2.0%	4.4%	100.0%

(5) 購入店の選択の自由度

	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	未回答	計
回答者数	90	60	48	32	8	13	251
%	35.9%	23.9%	19.1%	12.7%	3.2%	5.2%	100.0%

(6) 使用方法についての説明

	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	未回答	計
回答者数	102	73	35	22	5	14	251
%	40.6%	29.1%	13.9%	8.8%	2.0%	5.6%	100.0%

(7) 助成制度が広報されている

	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	未回答	計
回答者数	157	57	18	6	0	13	251
%	62.5%	22.7%	7.2%	2.4%	0.0%	5.2%	100.0%

(8) 生ごみの減量についての意識啓発

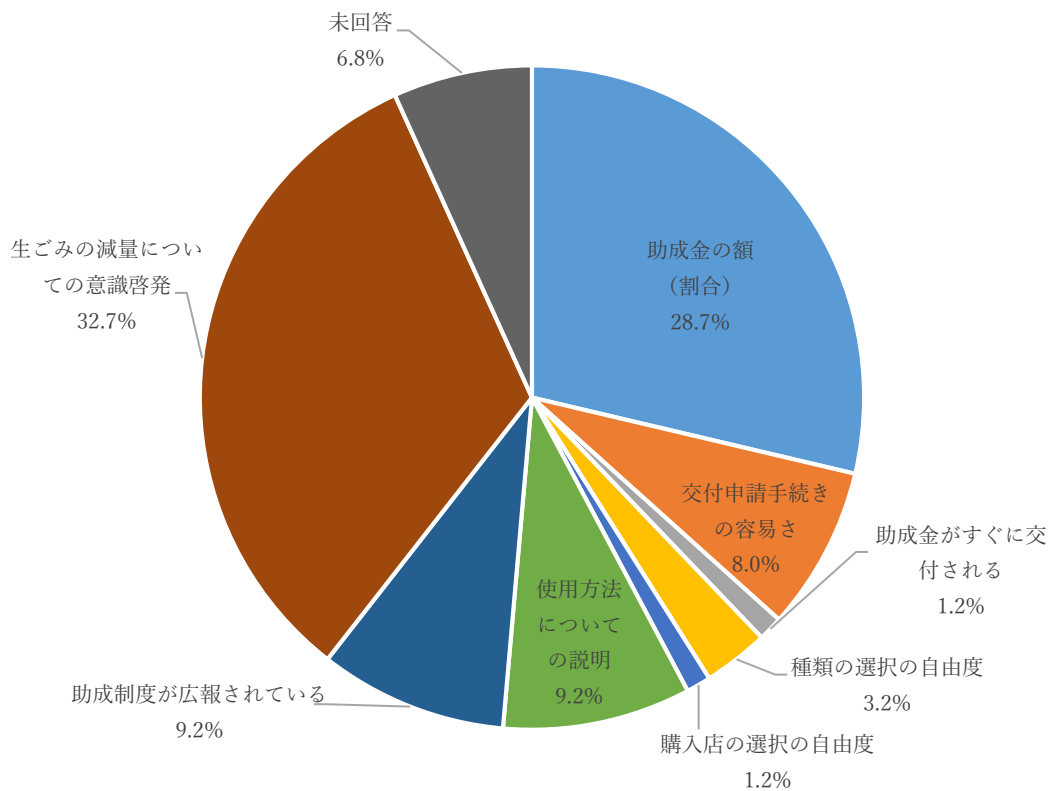
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	未回答	計
回答者数	168	57	14	5	0	7	251
%	66.9%	22.7%	5.6%	2.0%	0.0%	2.8%	100.0%

問 20 問 19 の(1)から(8)までのうち、どの項目が最も重要であるとお考えですか。

- (1)助成金の額（割合）
- (2)交付申請手続きの容易さ
- (3)助成金がすぐに交付される
- (4)種類の選択の自由度
- (5)購入店の選択の自由度
- (6)使用方法についての説明
- (7)助成制度が広報されている
- (8)生ごみの減量についての意識啓発

	助成金額	手続きの容易さ	助成金交付の早さ	種類の自由度	購入店の自由度	使用方法の説明	助成制度の広報	意識啓発	未回答	計
回答者数	72	20	3	8	3	23	23	82	17	251
%	28.7%	8.0%	1.2%	3.2%	1.2%	9.2%	9.2%	32.7%	6.8%	100%

問 19 の項目のうち最も重要であるとお考えるものを聞いたところ、「(8) 生ごみの減量についての意識啓発」(32.7%) が最も多く、次いで、「(1) 助成金の額 (割合)」(28.7%) となった。



問 21 現在の家庭用生ごみ処理容器等に関する制度について、満足の度合いをお答えください。

	満 足 度				
	満足している	ほぼ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である
(1)助成金の額（割合）	5	4	3	2	1
(2)交付申請手続きの容易さ	5	4	3	2	1
(3)助成金が交付されるまでの日数	5	4	3	2	1
(4)種類の選択の自由度	5	4	3	2	1
(5)購入店の選択の自由度	5	4	3	2	1
(6)使用方法についての説明	5	4	3	2	1
(7)助成制度が広報されている	5	4	3	2	1

現在の家庭用生ごみ処理容器等に関する制度についての満足度を聞いたところ、「満足している」及び「ほぼ満足している」の回答者数は過半数を超えたが、「やや不満である」、「不満である」との回答者も各項目で10人程度見られた。「助成制度が広報されている」の満足度では、「やや不満である」及び「不満である」との回答者が21人（8.4%）となり、助成制度について、より積極的に周知を図っていくことが必要といえる。

(1) 助成金の額（割合）

	満足している	ほぼ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	未回答	計
回答者数	72	118	36	3	9	13	251
%	28.7%	47.0%	14.3%	1.2%	3.6%	5.2%	100.0%

(2) 交付申請手続きの容易さ

	満足している	ほぼ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	未回答	計
回答者数	87	108	31	7	2	16	251
%	34.7%	43.0%	12.4%	2.8%	0.8%	6.4%	100.0%

(3) 助成金が交付されるまでの日数

	満足している	ほぼ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	未回答	計
回答者数	91	95	44	5	2	14	251
%	36.3%	37.8%	17.5%	2.0%	0.8%	5.6%	100.0%

(4) 種類の選択の自由度

	満足している	ほぼ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	未回答	計
回答者数	74	88	61	7	6	15	251
%	29.5%	35.1%	24.3%	2.8%	2.4%	6.0%	100.0%

(5) 購入店の選択の自由度

	満足している	ほぼ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	未回答	計
回答者数	71	85	72	5	3	15	251
%	28.3%	33.9%	28.7%	2.0%	1.2%	6.0%	100.0%

(6) 使用方法についての説明

	満足している	ほぼ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	未回答	計
回答者数	73	98	49	9	6	16	251
%	29.1%	39.0%	19.5%	3.6%	2.4%	6.4%	100.0%

(7) 助成制度が広報されている

	満足している	ほぼ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	未回答	計
回答者数	58	87	73	15	6	12	251
%	23.1%	34.7%	29.1%	6.0%	2.4%	4.8%	100.0%

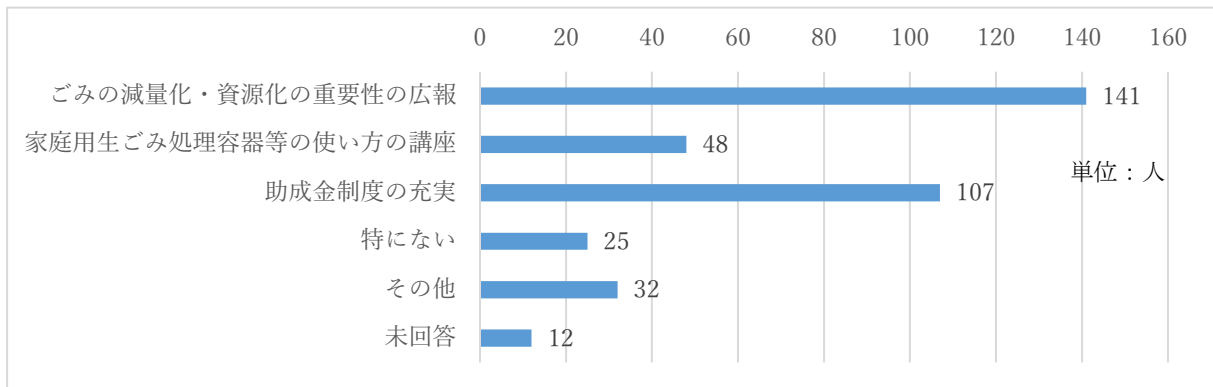
問 22 今後、家庭用生ごみ処理容器等の普及について、市に取り組んで欲しいことは何ですか。
(複数回答可)

1. ごみの減量化・資源化の重要性をもっと広報して欲しい
2. 家庭用生ごみ処理容器等の使い方についての講座を開催して欲しい
3. 助成金制度を充実して欲しい
4. 特にない
5. その他（具体的に：)

家庭用生ごみ処理容器等の普及について、市に取り組んで欲しいことを聞いたところ、「ごみの減量化・資源化の重要性をもっと広報して欲しい」(38.6%)が最も多く、次いで、「助成金制度を充実してほしい」(29.3%)となった。

家庭用生ごみ処理容器等の普及に関して市に取り組んで欲しいこと（複数回答）(n=251)

	ごみの減量化・資源化の重要性の広報	家庭用生ごみ処理容器等の使い方の講座	助成金制度の充実	特にない	その他	未回答	計
回答者数	141	48	107	25	32	12	365
%	38.6%	13.2%	29.3%	6.8%	8.8%	3.3%	100%



<その他の主な記載内容>

- ・電動処理機も助成の対象にしてほしい。(2)
- ・生ごみを一時保管(台所で)する容器もあわせて購入したい。
- ・種類の選択肢が増えると良い。
- ・品質の良い物を推奨して欲しい。
- ・利用条件(環境)に応じた製品の案内。
- ・活用事例の紹介。
- ・購入時の補助と併せて使用実績を重ねることによるメリット(指定ゴミ袋がいらないとは別の)。

継続利用も大事。

- ・生ごみ処理容器等を使うことで、エコ活動に参加しているという意識が持てることを広報してほしい。
- ・定期的にイベントか広告（紙に図や写真で一通りの流れを書いたものなど）を配布。広報で2ページくらいとか。
- ・キエーロの使用方法やごみ減量の取組事例等、SNS で市民の取組事例を紹介して、やってみようかな？という意識啓発を高めてほしい。
- ・実際に体験する場がもっと増えると良いと思います。
- ・使うことによって生じるマイナスがないことをアピール。
- ・購入後も継続的に面倒をみる。
- ・サポート窓口、もしくは困った時の相談コミュニティがほしいと思いました。使いだして困ったこと、ねずみ、虫などすぐに相談できる場所は必要です。
- ・使用後のアフターフォロー、処理機自体もいつかはごみになる。
- ・地域内では発生している資源（堆肥、堆肥化できるもの、家畜の飼料になるようなもの）を循環させるような仕組み。
- ・庭に薬をまかない。コンポストの使い方、野菜を作るとかメリットをもっと広める。土のことをもっと学びたい。
- ・堆肥を使って育てた野菜や花を買えたり、見れたり、広報に載せたりすると、利用者も増えるのかと思います。
- ・堆肥の処理に困ったので回収してもらえるとよりよいと思います。
- ・土の入れ替えが定期的に必要のため、堆肥の処理について対策を用意してほしい。
- ・キエーロは使用していれば能力がないのはすぐわかるのに、市が助成したのは不可思議。何度も問うたがミキサーでかくはんして混ぜろとの回答には口をあんぐりした。
- ・分別がもう少し簡単になったらと思います。
- ・ごみステーションの美化も含め、美しい街づくりの推進に期待したい。
- ・広めてください。良いものです。
- ・よい取組で感謝しています。
- ・海岸でデモンストレーションを行い、海のごみをなくしてほしい。
- ・ビーチクリーンや飲食店のごみがあまりにも緩くて意識が低すぎる市民が多い。そこを変える制度を作してほしい。
- ・”野菜ごみ”を紙袋等で集め、植栽剪定ごみと共に処理する。
- ・集合住宅などに住んでいて、関心は高くても処理器導入へ後ろ向きな人もいると聞く。地域に生ごみステーションがあったり、堆肥で家庭菜園・緑化を实践する方法を説明・普及させることで、目の前からごみがなくなる（見えなくなる）という近視眼的な目的でなく、循環型の社会を本当の意味で実現するという目標を見据えたランドデザインができると良いと思う。

問 23 逗子市では、ごみの焼却による環境負荷を低減するため、燃やすごみの中の多くを占める生ごみの減量化・資源化に取り組んでおり、家庭用生ごみ処理容器等の普及を推進しています。また、令和6年度後半からは、生ごみを新たな分別品目として燃やすごみと別に収集し、葉山町へ生ごみの資源化処理を委託する計画をしています。

生ごみが分別収集になったときの家庭用生ごみ処理容器等の使用に関して、お考えをお聞かせください。

1. 家庭用生ごみ処理容器等の使用を続けたい
2. 生ごみを出すときのごみ袋の金額が現在の燃やすごみと同じなら、家庭用生ごみ処理容器等の使用を続けたい
3. 生ごみを出すときのごみ袋の金額が現在の燃やすごみより安くなるなら、家庭用生ごみ処理容器等を使用せずにごみステーションに出したい
4. 生ごみが無料で出せるなら、家庭用生ごみ処理容器等を使用せずにごみステーションに出したい
5. その他（具体的に： ）

生ごみが分別収集となった場合、家庭用生ごみ処理容器等の使用について考えを聞いたところ、「家庭用生ごみ処理容器等の使用を続けたい」（68.5%）の回答が最も多かった。

一方で、「生ごみが無料で出せるなら、家庭用生ごみ処理容器等を使用せずにごみステーションに出したい」との回答者も25人（10.0%）となり、ごみ処理手数料の金額によっては、家庭用生ごみ処理容器等の使用をやめたいとの考えも一定数あるといえる。

生ごみが分別収集となった場合の家庭用生ごみ処理容器等の使用

	生ごみ処理容器等の使用を続けたい	生ごみが燃やすごみと同額なら生ごみ処理容器等の使用を続けたい	生ごみが燃やすごみより安いなら生ごみ処理容器等を使用せずごみS Tに出したい	生ごみが無料で出せるなら、生ごみ処理容器等を使用せずごみS Tに出したい	その他	未回答	計
回答者数	172	21	9	25	11	13	251
%	68.5%	8.4%	3.6%	10.0%	4.4%	5.2%	100%

<その他の主な記載内容>

- ・逗子市で処理ができるようにしてほしい。そのためには協力はしますがけど・・・
- ・現在の燃やすごみと同じなら全てごみステーションに出したい。
- ・生ごみが無料で出せるなら自分のタイミングで併用したい。
- ・使いやすい生ごみ処理機が見つけれれば生ごみ処理容器に切り替えたい。
- ・キューロは出る量に対して処理が追いつかないので、家庭用で処理するものと出すものに分けて両方利用したい。
- ・その時になってから考える。

- ・ごみの分別が十分ややこしいので、これ以上分別品目を増やさないでほしい。
- ・「葉山町での資源化」の意味が「堆肥化」の意味であれば現キエーロは使い続ける。「ガス化によるエネルギー回収」であればキエーロ使用を中止して生ごみを出す。
- ・分別収集時のごみ袋が有料であると、新たな金銭負担が増え、また資源化処理計画のメリットが周知されていないと感じる
- ・元気な間は生ごみ処理容器を使用し続けたい。ごみステーションに出すのにポリ袋が余分に使われるのはどうなのか？！

家庭用生ごみ処理容器等についての自由意見

家庭用生ごみ処理容器等について、ご意見がありましたらご自由にお書きください。

使用方法等について

■使用してよかったこと

- ・処理容器を使用してからごみの量が大幅減った。たくさんの人がこの処理容器を使うようになると良いと思います。
- ・台所まわりが清潔になりごみ置き場もコンパクトに、きれいになる。一度使いだしたらやめられません。補助金なしの金額負担だと考えてしまうが、助成金がすぐおりるので、採用してよかったと思います。
- ・油が捨てられることが嬉しいです。
- ・生ごみをごみ出しせずに約2年半経ちます。生ごみは密閉容器で保存しており、キエーロに投入するまで、においもそんなに気にならないし、ごみ出しの日もそこまで気にしなくなりました。家が南向き、風通しもよくて、我が家の環境とキエーロがマッチして良かったです。重宝しています。ありがとうございます。
- ・キエーロのおかげで、生ごみ処理の手間が減って助かっています。
- ・no キエーロ no life と言えるほど重宝しています。他の処理機も考えましたが、電気や菌を購入しないといけないこともあり、キエーロにしました。仕組みがとてもシンプルなところが気に入っています。購入する前は自作して使っていましたが、「ベランダ de キエーロ」と同等なものだったので湿気で底が抜けました（3年程）。次は助成金を使わせていただき、商工会でバクテリア de キエーロを購入し設置してもらいました。底がないですし、丈夫な気なので長く保っています。ガーデニングにも土を使用しましたが、市販の肥料より育ちがよかったと思います。これからも活用させていただきます。
- ・ごみの減量化・資源化の取組はとてもすばらしく、少しでもごみを減らしたいとの思いで、キエーロを使っています。これらを使うことによって、ごみ袋代だけでなく利用者にメリットがあるということがもっと知れ渡ると利用者が増えますよね。（堆肥の利用）→（花・野菜）→（見て食べて元気）今後もよろしくお願ひします。ありがとうございます。

■処理能力の課題

- ・キエーロの冬の処理能力を改善してほしい。
- ・キエーロは、冬には分解して無くなるまで2週間かかるので全部の生ごみは処理できない。風の強い日は土が舞い上がるので使いたくなくなる。
- ・冬でも分解できるようなキエーロのやり方を教えてほしい。夏は使用しているが、冬はごみとして有料袋で出しているのが現状。
- ・冬場になると温度低下により分解が進まず昨年からは1月、2月はキエーロを使わず、ごみとして出していました。やり方（使用方法）の問題なのか、土の量（分解できれずに残るごみ）が

増え、ふるいをかけて取り除くような事もしています。出たものは庭の土に戻したり、ごみに出したり……。果たしてごみの減量につながっているのかと考えます。しかし、微力ですが続けようと思っています。

- ・キエーロを使っているが、一度の量でしばらくしないと使えなくなるため面倒になった。
- ・キエーロで生ごみをすべて処理するのは限界がある。季節によっても処理能力が変わるため、燃やすごみと併用することになっている。以前、電動の生ごみ処理機を使用していたが、それもすべての処理が難しかった。
- ・キエーロに捨てられる種類が少なすぎる。
- ・処理容器にすべての生ごみが入れられれば使い勝手が楽になるので、そこを改良していただきたいです。

■設置場所の課題

- ・キエーロ（小）1個では4人家族ですら小さすぎる。かといって2個置く庭（ゆとり）はない。
- ・キエーロは2台あるが、場所をとるのもう少しコンパクトになるといいかも。高齢でだんだん面倒になってきた。
- ・大人2人、子ども1人の家庭ですが、キエーロはもう少し小さくても十分かなと思います。深さも深い分重く、一度設置した場所から動かさないと。小さめがあつたらもっと置く方が増えると思います。

■生ごみの一時保管

- ・台所（室内）での保管に悩むので、臭いの出ない容器などがあればよいと思う（一定期間保管用（1～2日））。
- ・台所シンクに備える「ごみ捨て」に生ごみとそうでないものとに分別できる工夫があるものを考えてほしい。

■虫・動物対策、家庭用生ごみ処理容器等の形状に係る改善要望

- ・ごみを荒らされてしまい、使っておりません。防護も考えていただきたいです。
- ・キエーロの大型を10年前から利用し、大変助かっております。本体と屋根の間が開いているので、夏場はどうしてもコバエが侵入したり、卵を産みつけます。開いている部分に網を張った構造なら通期もよく使いやすくなると思います。または、屋根の波板の下にもう一枚網戸を付けた型が望ましく思われます。
- ・我が家の生ごみ処理機は木枠に厚手のビニールのトタンの様な屋根を開けるのですが、上部横が開いているので、動物が入る、虫が入る。蓋が閉まると良いなと思います。
- ・蓋の裏の虫よけ部分が弱く外の所が使えるのに、もう少し丈夫にしてほしい（コンポスター容器使用）。
- ・土が減った際にどう補填したらよいか。ウジ虫が大量に発生するのがとても嫌である。
- ・一度虫の大発生がありました。

■アフターフォローに関する要望

- ・修理を一度自分でやりました。購入後メンテナンスも含めて「使い続けるための手助け」があると、皆続けやすいと思います。
- ・故障時の早急な対応。
- ・2016年に購入したキエーロが今年壊れて（木が腐って）しまい、買い替えました。キエーロを長く使うコツがあれば教えてほしい。
- ・昨年キエーロの外枠の木が虫食いで割れてしまい使えなくなりました。土の廃棄や木枠の処理等、市のどこに問い合わせても明確な回答はなく大変な思いをしたので、また同じキエーロを使うことは考えていません。他に何か良いものはないかと探しましたが我家に合うものは見つかりません。数年でダメになるなら、市の助成があっても高い買い物ですし、アフターケアも充実して欲しいです。
- ・バクテリア de キエーロを持っていますが、土がベタベタになり、分解にとっても時間がかかるようになってしまいました。どうしたら良いのか？そのような質問を市役所で受けてくださるセクションがあるとうれしいです。環境のため、資源化のため、ぜひ力を入れていただきたいです。

■その他使用に関すること

- ・これからも使用を続けたいです。
- ・コンポスト対応可能マークがあるとよい。例えばティーパック、コーヒーフィルターがコンポスト対応可など。生ごみの分別のため燃やすごみになっているものがあるため。
- ・ごみが多く出るから一軒に2個ほしいです。
- ・省スペースで処理能力の高いものがあればまた使用したい。
- ・設置のときに、土を肥料にするのはもったいないと言われましたので、土を取り出すことはしていなかったのですが、植物の肥料に使ってもいいのだというのが、このアンケートでわかりました。
- ・初期のバクテリア式→ドライ式→キエーロ。キエーロが置く場所を確保できるなら、一番と思いますが、木製のため何年もつか確かめ中です。
- ・キエーロは便利だが、周りの木枠が腐食して隙間ができてきている。
- ・キエーロを使用しておりますが、マンションやアパートなどでは小型のものなど色々な種類があればよいと思います。ごみを減らすことの重要性を訴え続けていただきたいです。
- ・現在キエーロを利用しておりますが、キエーロは処理できない生ごみがある為、今後は全て処理できる生ごみ処理器を考えたいと思います。
- ・バクテリア de キエーロについてですが、生ごみと土を混ぜる作業が思ったより力が必要なので、お年寄りは大変だと思います。力の弱い方でももう少し簡単に使えるよう気があったら、もっと広められるのではないかと思います。使い方 DVD はもったいないので、見たら返却などができるとよいと思います。
- ・キエーロは、ごみを細かくしないで投入したためか、虫がわいて使用しなくなりました。コンポストは暑い時期はふたを開けずに過ごすため、その間は生ごみは燃やすごみの日に出してい

ます。でも良い土になります。

- ・拙宅はキエーロを庭（台所近く）に置き問題なく使用、大変助かっていますが、2F以上の部屋使用の家庭にとっては小型のものもキエーロ少し問題あり。ベランダに置けば良いと思いますが虫が湧いた場合、洗濯物、部屋や窓の近くで虫苦手の家族には無理があります。抛宅の場合、虫はある程度わきますが、土をかけて隠してしまいます。
- ・木製のコンポストに陸前高田と印字してあるので、同市と災害協定を結んでいるのかなと思い、いささかなりとも被災地支援に関わられたかと思いました。でもあの使いにくさは、がっかりで、今は庭に置いてあるだけ。木肌は色あせ、そのうち波板がひび割れるのではないかと気になっている。こんなことならプラスチック製をホームセンターで買ったほうがよかったと後悔しています。
- ・バクテリア de キエーロ購入の2回目でしたが、再び土がセットされていました。（1回目の生ごみ処理容器が破損したための再購入でした）。1回目の土を新しい容器に入れ替えた為、2回目にセットされていた土が丸々余っており、置き場所、使い道に大変困っています。2回目以降は土が必要か不要か選択できるようにしていただきたいです（エコのためにも）。
- ・①肉、魚、玉ねぎ、にら、にんにく、何を入れても虫がわからない方法、②日光が当たらなくてもよい方法を教えてください。もしくは、改良をお願いします。③庭のない家の方たちの生ごみ処理を考えて欲しい（ニューヨークのようになったら楽です）。※もっと生ごみ処理容器を普及してほしい。

広報・情報提供・使用体験について

■ 広報・情報提供

- ・使い続けるコツ、失敗例、何年も使うとこうなる、みたいな事例をたくさん紹介してほしい。
- ・利用条件（環境）に応じた製品の案内と啓発。
- ・生ごみをごみの日を待たずに庭で処理できて良いです。購入する前に使い方をもっと知りたかったので、市のホームページなどで動画をアップするなどもう少し具体的な情報が得られたら、購入後のイメージができてよいと思います。
- ・広報でキエーロ以外にも色々な事を写真付きで（使い方も）紹介してみると、目に留まるきっかけが広まる気がします。
- ・生ごみ処理容器等を使用することにより、環境対策に参加できている（小さいことから一つずつ）という意識が持てるように、広報活動を強化していつてもらいたいと感じております。
- ・もっと多くの方に使ってほしいです。週2日の燃やすごみの日もごみ袋のサイズが大きいものが目立ちます。生ごみが無くなったら一番小さいサイズですみますし、キエーロで生ごみがリサイクルできるのは素晴らしいことを多くの人に周知すべきと思います。
- ・キエーロがなくても庭が広いので、臭いのないものは直接庭に埋めても大丈夫なことがわかりました。そのような生ごみの処理方法についても減量化意識啓発とともに教えてもらいたいと思います（生ごみの種類でも違うと思うので）。
- ・使用を義務づける程にしたい。とにかくPR、良さをもっともっと前向きに！！生ごみ処理は各

家庭が真剣に取り組むべきです。もっと真剣にPRを！！

- ・助成金をもらって処理容器を使っている人、使っていない人等の交流をしてほしい。使っている人の困っている事等知りたい。葉山町へ生ごみの資源化処理を委託するからとって、処理容器を使用しなくて良いとはならないと思います。自分で出す物は自分で処理したいと思いません。
- ・生ごみを出す人の意識の問題だと思う。自然環境に関心をもってもらうよう大人にも子供にもわかるよう広報に載せてほしい。テレビで後進国の子どもたちがごみを拾って生活をしているのを見ると、胸が痛みます。
- ・置く場所があればキエーロが臭いもなく手間もかからないでよいと思います。ごみ処理だけに使うなら土の量は変わることもなくてよいのですが、できた土を植物を育てるのに利用すると黒土を追加する必要があります、その入手に困っています。燃やすごみを減らすためには、その必要性や処理方法を宣伝しなくてはいけないと思います。
- ・ごみ処理容器の設置や詳しい使用方法について、逗子ではあまり情報を得られず、葉山町へ照会した記憶があります（購入時）。キエーロは思いの外、処理に時間がかかるので、完全に家庭の生ごみをキエーロに入れることができなかつたのは予想外でした。
- ・以前、キエーロの方が家まで説明に来てくださって説明を聞いてから、すごく楽に使えるようになったので、そのような気楽にできるやり方をもっと広めたら使用する人も増えると思います。
- ・できる限り普及を図るべきである。
- ・ごみの減量・資源化についての意識啓発に向け、より積極的に取り組んでいただきたい。

■使用体験・共同利用

- ・生きてく上でごみ問題はとても大切だと思います。家庭で処理容器を使えない子にも、ぜひ体験してほしいので、小・中学校の授業を含め、何かしらで常にあるものとし体験できるといいと思います。トラブルを含め、とても身近で楽しい学びになると思います。
- ・保育園、幼稚園、小学校、中学校で、生ごみが土に還る様子をぜひ学習させたい。
- ・市の土地（花壇）の一角にコンポストを置いてほしい。地域によってごみ出しのルールが守られていない地区があるので、トラブルの少ない地域に置いたらよいと思う。そうすると、家庭でも置いてみようという気持ちが高まると思います。
- ・近くに使用している人がいれば、詳しく話を聞けるので、設置しようと思いますが、やはり具体的な話が聞けない、見れないとなると、設置には至らないと思います（私も1年悩みました）。具体的に、見て、体験できる場所があると、わかり易いと思います（交流センター内に設置→いつでも見れる等）。
- ・各家庭ですと維持管理が大変、自治会ごとに処理できるような設備があればと思う。現実には難しいと思うが。非常識的な出し方をしたり、自治会以外の人が使用したりの問題がある。
- ・マンション住まいです。本当ならベランダに置けるキエーロを使いたいのですが、台風被害も心配ですし、塩害のこともあるので、導入は考えられません。たとえば、マンション単位でどこかでキエーロのようなものがあれば便利だなとは思いますが。

- ・家庭以外の場所でも、コミュニティの場所に気軽に生ごみを持っていける場所が増えると、もっといいなと思います。

家庭用生ごみ処理容器等購入費助成制度について

■助成金額・助成対象

- ・気候変動対策になるので、大幅に助成を拡充いただき先進自治体として国の先駆けとなるよう政策を展開いただきたい。
- ・鎌倉市や葉山町と助成金が違いすぎる。逗子市は自己負担金が高い。
- ・どこかの村では、各家庭に無料で配布（全戸）。ごみ減量に効果大だったというニュースを以前に見たことがあります。ここまでは市として無理だとしても、助成金を多くしてもよいのではないのでしょうか。生ごみ 500g の処理に税金がどのくらいかかっているのか知ってもらうのも大事では。
- ・無料配布は難しいですね。使わない人もいますもんね。助成感謝します。
- ・キューロが古くなってきたので新しいものと交換したいが、2 度目でも助成が受けられるのか知りたい。
- ・生ごみ処理容器等を複数回購入しても助成金は交付していただけるのか？ 1 回目だけなのか？
- ・逗子の景観になじむコンポスター容器（生ごみ処理能力（量）が高い）も選べると良い。（現在の緑色の容器はいかにも・・・という感じでやや心理的抵抗がある。）
- ・利点を知れば導入につながると思う。最近助成金がなくなったと聞いた。それでは広がらないのでは。
- ・助成金をいただき大変助かりました。ありがとうございました。

■電動式生ごみ処理機

- ・生ごみ処理容器を「自動」も追加してほしいです。そうしたらまた利用したい。生ごみ減に努めたい。
- ・電気のものも助成を再開してもいいのでは？キューロでないものの広報がもっとあってもよいと思う。
- ・電動処理機も助成の対象にしてほしい。ごみの減量化には貢献していると思うし、土に混ぜて使う事ができるので。
- ・助成があったため生ごみ処理機を購入しました。電動処理機も助成対象であれば電動式を購入したかった。
- ・電動処理機を使用している我家にとって、電動処理機は少々高額なので助成金を出していただくと大変助かる。電動処理機はほとんどの生ごみが処理でき、処理後は生ごみの減量化、資源化（肥料等）にも役立ち大変便利で有効である。
- ・電動式は助成金が出ないと言われたが、今も電動式を使用中。
- ・電力を使ってもすぐに生ごみを処理する方法を市から提供いただきたい。生ごみを出す手間、

労力の方が高齢者には大変かと思います。

- ・生ごみを分別収集なら非電動生ごみ処理器は無料配布し、その使用については定着するまできめこまやかな支援をして、処理器の利用を継続できるようにしてほしい。以前無料配布したコンポストは、ほとんど利用されていないのが現状です。アフターケアが継続の鍵です。
- ・今までに助成を受けたのは3回で、現在使用しているのは、電動式のリサイクラーで2台目です。高価なので助成金はありがたいです。生ごみの臭いのしない生活に慣れてしまったので、今後分別方法が変わってもこのタイプの処理機を使い続けたいと思います。市のサイトを見ると種類一覧にもありませんが、「その他の容器」の扱いでしょうか？
- ・現在使用している処理機（電動）も長いこと使用しているため、更新が必要になってくると思います。助成の申請は複数回可能なのか？以前、知人が据え置き型のものを使用していましたが、処理スピードが遅いこと、臭気があることから、使用を中止していました。現在使用のものは使い勝手が良いです。
- ・電動処理機を一度使ったら手放せません。他の人にもすすめています。
- ・生ごみを細かくきざむ、土にまぜる、というのが手間がかかるし、力が必要なので、電動でできる生ごみ処理器があるといいなと思っています。

生ごみ分別収集・資源化の制度等について

- ・生ごみの資源化処理に市として取り組むことは、とても良い政策だと思います。資源化しやすい形でゴミを出すように市民を教育するのが大変かもしれませんが、ぜひ実現させてください。
- ・生ごみ資源化処理をして生産された産物、おそらく肥料などを市民としても安全で安価、容易に利用できるようにしてもらいたい。
- ・生ごみ保管中の臭いが気になることが、処理機購入の一番大きな理由でした。生ごみの収集間隔が現在より短くなるなら収集に出しても良いと思いますが、現在と同じか、頻度が減るなら処理機の使用を続けたいと思います。
- ・生ごみの資源化処理とは、堆肥をつくることでしょうか。回収される方法によっては、家庭で処理してから出したいと思います。電動処理機を使用していますので、量を減らし軽くできるので良いと思っています。節電にならないのが申し訳ないところです。
- ・家族が多いと生ごみもたくさん出て使用するよりも多くの堆肥ができるので、もし市が生ごみだけを集めて肥料にするようになったら、生ごみは出したい。
- ・問23の方法は反対である。生ごみの回収している市もある様だが、ゴミ集積所にハエ、ゴキブリなどがすごいらしい。そこは誰が掃除するのか？生ごみに限らず自治体によってこんなに違いがあるのか。分別の仕方や指定ゴミ袋など、無料のところ引越したいけれど色々な事情で無理である。有料になってからゴミ屋敷になってしまった。現在1人暮らしで毎日料理していないので、ゴミ出しは週1ミニサイズの袋では、生ごみだけをほんの少し捨てるだけ有料袋を使うのはもったいないと思う。
- ・できる限りゴミを少なくしたいとは思っていますが、思いのほか、キエーロの処理に時間がか

かり、どうしても使用する回数が減ってしまいました。ですので、やはり生ごみにお金がかかるのでしたら、毎日出るものなのでできれば安いとありがたいです。

- ・燃やすごみに5リットルのごみ袋を週2回使用しています。さらに生ごみ用にごみ袋を購入することは合理的とは思えません。
- ・電気式を使用しているのでこのまま使用を続けます。臭いがしなくなるのでごみ袋の問題とは別と考えます。それよりもごみ袋が高すぎると思います。40リットルは半分の枚数とか一枚売りをして欲しいです。一枚80円なんてぼったくりです。プラの回収日を増やしてほしいです。
- ・ごみの処理が色々面倒だと逗子に住みたいと思う人がいなくなるかも。ビニールでも生ごみでも一緒なのに、逗子の焼却ではなぜそれができないのか？
- ・ごみ袋の金額が高すぎます。大袋1枚当たり80円は考えられない値段です。金額を考え直してもよいのではと思います。電動式は臭いもなく大変便利でずっと使用しており、手放すことはできない状況です。しかし、量販店などでは数が少なく高額です。市で一括購入して市民に少しでも安価で販売されたらいかがですか？興味がある方は多くいると思いますが、やはり金額が問題では。
- ・有料ごみ袋（市指定のもの）の金額が少々高く感じるので、値下げを検討できないか。
- ・太い骨や貝殻が残ってしまうので、そのためだけに分別するのが手間。今後有料になるのであれば、その点を改善してほしい。
- ・キエーロは大変エコだが投入できない（分解できない）生ごみもある。葉山町との計画で、キエーロに投入できない生ごみも収集するか教えていただきたいです。生ごみの種類によって収集できないものがあるのなら、燃やすごみに出せるようにしてほしい。
- ・生ごみの葉山町での資源化は、温室効果ガスの削減ではその様な効果が期待できますか。キエーロの標準的な使い方の場合、好気性ガスと嫌気性ガスの発生割合についてのデータはないでしょうか。
- ・簡単に捨てられるようにしてほしい。高齢者にはこんがらがって分からなくなる。
- ・生ごみ、草木などを循環して地にかえす取組は必要だと思います。ごみステーションの乱雑使用は、はなはだ目をそむけたく、この様な大人には教育が必須で、地球環境を子孫の為にもより良くあらねばと考えると、隣市の様に各戸の玄関前に置くなど手立てを企てるのが課の務めだと思います。

全般について

- ・現在、生ごみのうち一部をキエーロで処理し、残りは燃やすごみで出しております。今回のアンケートを終えて、生ごみの減量化の重要性を再確認できました。これまでより、キエーロでの処理量を増やしていこうと考えております。
- ・生ごみが資源になるのはとても良い取組だと思いますが、なるべく臭いが少ない方法があったらよいと思います。
- ・ごみ袋も節約できて、臭いも気にならなくなり、植物も育つてよいことだらけです。学校や職場での試用を進めて、もっと周知した方がよいと思う。金額は少し高いので助成金はとてもあ

りがたい。複数の家庭やコミュニティで共同購入できるのもよいかもかもしれない。

- ・キエーロを使っていますが、メリットが多すぎて全家庭に有っても良いと思うくらいです。少し話がそれますが、もっとごみ分別、減量、回収、脱パッケージ、リユースショップなど、逗子市も頑張ってもらいたいです。上勝町がとても素敵です。私はビーチクリーンを自主的にしています。週末明けのごみの山を見て本当に悲しいです。
- ・生ごみを室内に置いておくなんてもうできません。面倒だと思っている人が多いのでは。意外と面倒でもない。社会貢献として減量を呼びかけるといふより、単純に自分の家の中で快適であるというメリットで続けられている。人ってそんなものでは？ごみ減量もちろん大事ですけどね。
- ・畑で野菜を作っているのを助かっている。例えばトウモロコシやタケノコは茹でたり、ごみが少なくなる売り方からやらないと無理ではないか。普段でも、分別をしないで出す人がいて当番になったときに困りました。誰が出したごみか分かるような方法を考えて欲しい。
- ・周りの人は大量の燃やすごみを出している。コンポストが面倒なのだろう。
- ・ダンボールコンポストに使用したダンボールは、汚れているので有料ごみ袋に入れて出しています。ダンボールコンポスト資材が値上がりしないことを願っています。
- ・生ごみではありませんが、もったいない市のようなものが、うまく循環、運営できる仕組みを作っていただけたらと思います。
- ・大変ありがたく重宝しています。ありがとうございます。
- ・極めて有用。
- ・転居先でも便利に使わせていただいております。
- ・①コミュニティーポストを地域に点在させコンポストを知らない人や興味のある人が利用できるようにする。家に設置が難しい人が、燃やすごみに出す代わりにコンポストを利用。コミュニティーコンポストでできた堆肥で野菜や花づくりのできる場も併設されるとなお良い。(地域の交流の場)。逗子市内の家庭用生ごみ処理容器等取扱店で、月・木の野菜販売の日に家庭菜園やコンポストの相談などが気軽に楽しくできる場となっているところがあります。すてきなお庭なので、広報ずしで気軽に取り上げたらよいのではと思います。②市内の保育園、小中学校にもコンポストは設置されているのでしょうか？子どもたちにも生ごみは燃やすものではないとの教育ができると良い(サポートが必要なら参加可)。③鎌倉市のある学校ではその逗子市内の家庭用生ごみ処理容器等取扱店と協力して、給食の生ごみ堆肥化(コンポスト)に取り組んでいます。逗子市でも行っていただきたいです。④生ごみ処理容器の選択に役立つ比較表をわかりやすく作成。(例：堆肥の処理の必要の有無(キエーロはないので処理に困らない)、設置場所・大きさ、メンテナンス・使い勝手、捨てられないものの比較。購入後にかかる経費(キエーロは土が堆肥として使わなければ追加費用はかからない)。⑤広報ずしで「いろいろなコンポストの実際の使い方」を取材し、紙面で紹介。
- ・ごみ処理全般の意見となりますが、理想としては、周辺自治体と共同で高性能処理施設を設置し、分別回収の負担を軽減できると良いと思います。
- ・新規の転入者の指導をもっと市役所窓口で丁寧にして頂きたいと思います。(生ごみ処理機の意見ではありませんが、入れかわりのアパートの多い地域でステーションの残留ごみで困ってお

ります。お願いいたします。)

- 生ごみ処理容器については、設定スペースの問題もあるので全ての家に設置は難しい。※ごみステーションのマナー、ルールを市として定め、違反のあるステーションには処分等を決めてほしい。
- ごみ処理機に関心を持ったのは、育児休暇中、家にいる時間が長く、普段の生活で出るごみの多さと出す手間などについて考えたことがきっかけで、色々調べたところキエーロなどの手間のかかる処理容器では続かないと思い電気式を導入。最終的に決め手となったのは、市よりレンタルできて、実際試せたこと。導入から5年近くだが、今でも便利に使っています。また我が家を訪れる友人はほぼ必ずこの機械は？と聞かれ興味を示します。ただ最近、電気式は助成金の対象外なのではないでしょうか。とても便利なのですが。また、コロナで長期間家で過ごすことで改めてごみと向き合う時間が増えました。今後の課題は、処理した生ごみをごみとして出すのではなく、堆肥として利用していくことです。できたら、ごみ処理機で処理したごみの活用方法(堆肥の作り方)などの講習をしてほしいのと同時に、お庭がない家庭の人がより目的を持って処理機を導入できるよう、市の農園の一部を解放するなどして生ごみからつくった堆肥を使い、野菜を育てられるような取組など生ごみを処理すること＝ごみ削減だけでなく、楽しくできるというコンセプトも大事だと思います。(渋谷区は飲食店で出たごみを堆肥化し、その堆肥を利用して育てた野菜などを使って商品化しているなど、逗子市もそういった取組をお願いします。)
- 生ごみは大切な資源であると考えている。まるごと命の循環を一人一人の家で行っていくことが、健康な暮らしを維持していくのに大事なことと考えている。それが地球環境の改善にも連なっていると思う。
- 生ごみは宝になる。花を咲かせ野菜ができる。ミツバチや鳥がもどってきて、サイクルを感じることができる取組。
- 助成金があっても高価だと感じたのですが、内容を知れば納得します。しかし、負担は5,000円程度がMAXだと思います。しかしながら、使用すれば驚く程、燃やすごみが減り、こんなに生ごみが多かったと実感しています。混ぜるのが大変なので小中学生の力があれば高齢者も参加できる一大プロジェクトになる予感。
- 生ごみを減らすだけでなく、油を流さないで済むことはSDGsに大きく貢献することだと思います。ごみ減量に関する市民の取組事例をたくさん紹介共通のSNSやホームページで募集する等して、「へえ、いいじゃん、やってみようかな？」等と思うような取組をしていただきたいと思っています。ごみ減量推進委員等(報酬なし)をつくって、減量に取り組んでいる人を積極的に紹介する等して頑張っている人を応援してほしいです。有料袋をまずプラをやめるか植物由来にしてください。市の取組を応援しています。頑張ってください。

參考資料

家庭用生ごみ処理容器等の利用状況に関するアンケート調査票

このアンケートは、平成 28 年度から令和 2 年度の間家庭用生ごみ処理容器等購入費助成金制度を利用して、家庭用生ごみ処理容器等を購入した方に送付しています。

家庭用生ごみ処理容器等の利用に関して、実際に使用している方にご回答をお願いいたします。

お答えは、選択肢に ○ を付けていただく場合と、記述していただく場合があります。
回答の仕方は、質問ごとの指定に従ってください。

I あなたご自身のことについておたずねします

問 1 どちらの地区にお住まいですか。

1. 逗子
2. 桜山
3. 沼間
4. 池子
5. 山の根
6. 久木
7. 小坪
8. 新宿

問 2 あなたのお住まいの形態はどれですか。

1. 戸建て住宅
2. 集合住宅（アパート・マンション等）
3. その他（ ）

問 3 世帯人数は何人ですか。

1. 1 人
2. 2 人
3. 3 人
4. 4 人
5. 5 人
6. 6 人以上

問 4 あなたの年齢はおいくつですか。

1. 20 歳未満
2. 20 歳代
3. 30 歳代
4. 40 歳代
5. 50 歳代
6. 60 歳代
7. 70 歳代
8. 80 歳以上

II お使いの家庭用生ごみ処理容器等についておたずねします

問 5 いつ購入しましたか。（一番最近のもの）

1. 平成 28 年度
2. 平成 29 年度
3. 平成 30 年度
4. 令和元年度
5. 令和 2 年度

問 6 種類は次のうちどれですか。

1. バクテリア de キエーロ
2. コンポスター容器
3. 手動処理機
4. 電動処理機
5. EM処理容器
6. ダンボールコンポスト
7. その他（具体的に： ）

問7 お使いの家庭用生ごみ処理容器等を選択した理由は何ですか。(複数回答可)

1. 値段
2. サイズ (大きい)
3. サイズ (小さい)
4. 使いやすさ
5. 入手しやすさ
6. 処理スピード
7. その他 (具体的に: _____)

問8 家庭用生ごみ処理容器等について、何で知りましたか。

1. 市の広報 (チラシ、C U Z、広報ずし、ハロー逗子)
2. 市民説明会、市のイベント展示 (環境フェスティバル等)
3. 市のホームページ
4. テレビ、雑誌、インターネット検索 (市のホームページ以外)
5. 知人からの紹介
6. その他 (具体的に: _____)

問9 市の家庭用生ごみ処理容器等購入費助成金制度について、何で知りましたか。

1. 市の広報 (チラシ、C U Z、広報ずし、ハロー逗子)
2. 市民説明会、市のイベント展示 (環境フェスティバル等)
3. 市のホームページ
4. 販売店でのすすめ
5. 知人からの紹介
6. その他 (具体的に: _____)

Ⅲ 家庭用生ごみ処理容器等の使用状況等についておたずねします

問10 家庭用生ごみ処理容器等を使用しようと思った理由は何ですか。(複数回答可)

1. ごみ問題に関心があり、ごみの減量化・資源化に寄与したい
2. 生ごみを保管せずすぐに処理したい
3. 出したごみをカラス・猫等に荒らされないようにしたい
4. 園芸や家庭菜園で利用する堆肥を自分で作りたい
5. 市から助成金が交付され、安く購入ができる
6. その他 (具体的に: _____)

問11 家庭用生ごみ処理容器等をこれまでに何回購入していますか。

1. 1回目
2. 2回目
3. 3回目
4. 4回目
5. 5回目以上

問12 家庭用生ごみ処理容器等をどのくらいの期間使用していますか。

1. 1～3年
2. 4～6年
3. 7～9年
4. 10年以上
5. 今は使用していない (使用していた期間 _____ 年 _____ か月)

➡使用しなくなった理由を教えてください。(複数回答可)

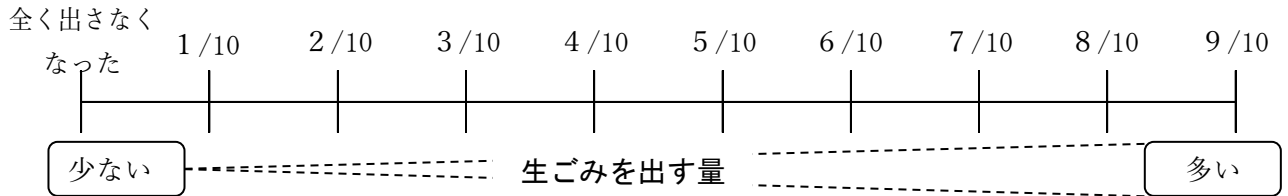
- | | | |
|--------------------|------------|-------------|
| ①臭いが気になった | ②虫がわいた | ③使用方法が面倒だった |
| ④投入するごみの分別が面倒だった | ⑤堆肥の処理に困った | |
| ⑥費用がかかった | ⑦故障した | |
| ⑧その他 (具体的に: _____) | | |

今は使用していない方は、問19へ

問 13 使用頻度はどのくらいですか。

1. ほぼ毎日
2. 週に4～5回
3. 週に2～3回
4. 週に1回程度
5. 月に1回程度
6. その他（具体的に： _____)

問 14 家庭用生ごみ処理容器等を使用するようになって、燃やすごみとして出す生ごみの量は、どの程度になりましたか。（該当する量に○をつけてください。）



問 15 家庭用生ごみ処理容器等を使用して、その効果に満足していますか。

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. あまり満足していない
4. 満足していない

問 16 家庭用生ごみ処理容器等を使用して、どのような利点がありますか。
(複数回答可)

1. ごみの減量化・資源化に協力できた
2. 指定ごみ袋（有料）の使用枚数が減った
3. ごみ出しが楽になった
4. 生ごみを保管することがなくなり、臭い等の心配がなくなった
5. ごみステーションがきれいになった
6. 利点を感じられない
7. その他（具体的に： _____)

問 17 家庭用生ごみ処理容器等を使用して、どのような問題点がありますか。
(複数回答可)

1. 臭いが気になる
2. 虫が気になる
3. 費用がかかる
4. 手間がかかる
5. 使い方が難しい
6. 設置場所を取られる
7. 堆肥ができすぎて使いきれない
8. 問題点はない
9. その他（具体的に： _____)

問 18 家庭用生ごみ処理容器等を使用するようになってから、ごみに対する意識は変わりましたか。

1. 以前から意識して取り組んでいるため、あまり変わらない
2. 以前より意識は高まり、積極的に分別や減量に取り組むようになった
3. 以前より意識は高まったが、特に分別や減量への取り組みはしていない
4. 以前から意識しておらず、あまり変わらない。
5. その他（具体的に： _____)

問 19 家庭用生ごみ処理容器等の使用を広めるために、あなたが重要だと思う度合いをお答えください。

	重 要 度				
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
(1)助成金の額（割合）	5	4	3	2	1
(2)交付申請手続きの容易さ	5	4	3	2	1
(3)助成金がすぐに交付される	5	4	3	2	1
(4)種類の選択の自由度	5	4	3	2	1
(5)購入店の選択の自由度	5	4	3	2	1
(6)使用方法についての説明	5	4	3	2	1
(7)助成制度が広報されている	5	4	3	2	1
(8)生ごみの減量についての意識啓発	5	4	3	2	1

問 20 問 19 の(1)から(8)までのうち、どの項目が最も重要であるとお考えですか。

{ }

問 21 現在の家庭用生ごみ処理容器等に関する制度について、満足の度合いをお答えください。

	満 足 度				
	満足している	ほぼ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である
(1)助成金の額（割合）	5	4	3	2	1
(2)交付申請手続きの容易さ	5	4	3	2	1
(3)助成金が交付されるまでの日数	5	4	3	2	1
(4)種類の選択の自由度	5	4	3	2	1
(5)購入店の選択の自由度	5	4	3	2	1
(6)使用方法についての説明	5	4	3	2	1
(7)助成制度が広報されている	5	4	3	2	1

問 22 今後、家庭用生ごみ処理容器等の普及について、市に取り組んで欲しいことは何ですか。(複数回答可)

1. ごみの減量化・資源化の重要性をもっと広報して欲しい
2. 家庭用生ごみ処理容器等の使い方についての講座を開催して欲しい
3. 助成金制度を充実して欲しい
4. 特にない
5. その他(具体的に：)

問 23 逗子市では、ごみの焼却による環境負荷を低減するため、燃やすごみの中の多くを占める生ごみの減量化・資源化に取り組んでおり、家庭用生ごみ処理容器等の普及を推進しています。

また、令和6年度後半からは、生ごみを新たな分別品目として燃やすごみと別に収集し、葉山町へ生ごみの資源化処理を委託する計画をしています。

生ごみが分別収集になったときの家庭用生ごみ処理容器等の使用に関して、お考えをお聞かせください。

1. 家庭用生ごみ処理容器等の使用を続けたい
2. 生ごみを出すときのごみ袋の金額が現在の燃やすごみと同じなら、家庭用生ごみ処理容器等の使用を続けたい
3. 生ごみを出すときのごみ袋の金額が現在の燃やすごみより安くなるなら、家庭用生ごみ処理容器等を使用せずにごみステーションに出したい
4. 生ごみが無料で出せるなら、家庭用生ごみ処理容器等を使用せずにごみステーションに出したい
5. その他(具体的に：)

家庭用生ごみ処理容器等について、ご意見がありましたらご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

* 調査票は三つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて、ご返送ください。
(切手を貼る必要はありません。)